

証実験を実施した。

従来は3D医療コンテンツをブルーレイプレーヤーから3Dモニターに表示し、偏光メガネ、あるいはアクティブシャッターメガネで視聴していたが、昨年12月にこの3D医療コンテンツをグラスレス3Dテレビに表示しめがねなしの「人に優しい3D」映像表示として成功している。

これをもとに、今回の実証実験は会場内3Dハイビジョンカメラを設置し、撮影された3D映像をインターネット光無線（キヤノピーム）で伝送、グラスレス3Dテレビ（II方式のグラスレス3Dレクザ）にLiveで裸眼3D表示した。

実証実験実施場所はパシフィコ横浜「エフエーシステムエンジニアリングブース」(L5)、「OBN協議会(L6)」(L6)ブース。ブルーレイプレーヤーより3Dハイビジョン医療コンテンツの各種3DTVへの展示も実施した。「人にやさしい3D」裸眼表示を多くの人に見てもらい、3Dコンテンツの製作技術、伝送技術・3D表示技術の実証実験を目的としている。

VISION^{Japan}2011 3D Live 実証実験

25
パシ
フィ
コ

URCF立体映像伝送作 光空間通信網推進協議会) イビジョン(HD)カメラ
業班(NHKメディアテク は今年4月20日から22日、 映像をインターネット光無
ノロジ、東芝、エフエー パシフィコ横浜で開催され 線のIPネットワークを使
システムエンジニアリン た「VISION Japan って世界初の裸眼(めがね
グ)とOBN協議会(高速 a n 2011」で3Dハ なし)3D Liveの実